

GRAIN RECEIVING BAG

Patent Number: JP3226460

Publication date: 1991-10-07

Inventor(s): SHIMAMOTO TOSHIJI

Applicant(s): ISEKI & CO LTD

Requested Patent: JP3226460

Application Number: JP19900020826 19900130

Priority Number(s):

IPC Classification: B65D33/06; B65D33/25

EC Classification:

Equivalents:

Abstract

PURPOSE: To prevent damages from occurring to a fastener by a method wherein an opening part is provided with a fastener for opening and closing purposes, a front and a back cloth above the opening part are joined together by stitching partly or wholly and a handle is provided on or above the joint part.

CONSTITUTION: A grain receiving leg 1 is formed of cloth or synthetic resin and a front cloth 2 thereof is provided at its upper part with an opening part 3 capable of being opened laterally of the bag. The opening part 3 is provided with a fastener 4, so that it is freely opened and closed with a sliding means 5. The front cloth 2 and a back cloth 6 above the opening part 3 are joined together by stitching throughout the width of the bag along the opening part 3. The bag is also provided with an elongated hole 8 above the stitched part 7 to form a grip 10 serving as a handle 9. When the grain receiving bag 1 is raised by holding the handle 9 with the hand, a force exerted on the fastener 4 of the opening part 3 is relieved by the joint part 7 of the front cloth 2 and the back cloth 6, whereby damages to the fastener 4 can be prevented. Also, since the force exerted on the fastener 4 becomes smaller, the fastener can be opened and closed easily.

Data supplied from the esp@cenet database - I2

⑬日本国特許庁(JP) ⑭特許出願公開
⑫公開特許公報(A) 平3-226460

⑮Int.Cl.⁵ 認別記号 庁内整理番号 ⑯公開 平成3年(1991)10月7日
B 65 D 33/06 A 6833-3E
33/25 6833-3E

審査請求 未請求 請求項の数 1 (全3頁)

⑩発明の名称 穀粒収納袋

⑪特 願 平2-20826
⑫出 願 平2(1990)1月30日

⑬発明者 島本 利二 愛媛県伊予郡砥部町八倉1番地 井関農機株式会社技術部
内

⑭出願人 井関農機株式会社 愛媛県松山市馬木町700番地

明細書

1. 発明の名称

穀粒収納袋

2. 特許請求の範囲

(1) 布、合成樹脂、その他の材質から形成した袋地を用いて上方側面に開口部を有する袋を構成し、前記開口部には開閉用のファスナーを装着すると共に、該開口部の上方部分の表地と裏地の一部又は全部を縫合等の手段によって一体的に結合し、該結合部分又は該結合部分の上方に把手を設けたことを特徴とする穀粒収納袋

3. 発明の詳細な説明

(産業上の利用分野)

この発明は、コンバイン、ハーベスター等の作業によって収穫された穀粒を収納する穀粒収納袋に関するものである。

(従来技術)

通常、コンバイン、ハーベスター等の作業によって収穫された穀粒は穀粒収納袋に入れられ、次工程の乾燥機投入作業へ移される。

従来の穀粒収納袋は、上端の開口部にこれを開閉するファスナーをもうけ、またこの開口部の両端部近傍に吊り下げ用の鈎目を設けている。

また、穀粒を充填した穀粒収納袋はかなりの重量になるのであるが、運搬車への積込や乾燥機への穀粒投入作業は主に手で行われる。

このような作業を容易にするために穀粒収納袋上部の開口部近傍に把手を設け、穀粒を充填した穀粒収納袋を持ち運びを容易に行えるようにしているものがある。

(発明が解決しようとする課題)

上述のような穀粒収納袋に穀粒を充填した状態で、開口部近傍の把手を持ってこの穀粒収納袋を持ち上げようすると、充填した穀粒の重量が開口部に設けたファスナーに直接かかってこのファスナーが破損してしまうことがあった。

また、把手を持って穀粒収納袋を持ち上げた状態で開口部に設けたファスナーを開閉しようと/orても、前述のように、充填した穀粒の重量がファスナーにかかっているためにこのファスナーの開

開操作が困難となり作業に支障を来していた。

(課題を解決するための手段)

この発明は上述の如き課題を解決するために次の様な技術的手段を講ずる。

すなわち、布、合成樹脂、その他の材質から形成した袋地を用いて上方側面に開口部を有する袋を構成し、前記開口部には開閉用のファスナーを装着すると共に、該開口部の上方部分の表地と裏地の一部又は全部を縫合等の手段によって結合し、該結合部分又は該結合部分の上方に把手を設けたことを特徴とする穀粒収納袋としたものである。

(発明の作用及び効果)

作業者は穀粒を充填した穀粒収納袋の把手、または把手と袋の一部を持ってこれを持ち運ぶ。

この発明による穀粒収納袋は、袋の上方側面に設けた開口部より上方の部分の表地と裏地の一部又は全部を縫合等の手段により一体的に結合している。

このため、把手を持って穀粒収納袋を持ち上げようとしたとき開口部のファスナーにかかる力は

前記の表地と裏地の結合部分によって逃がされ、このファスナーの破損を防止できる。

また、開口部のファスナーにかかる力が小さくなるため、穀粒収納袋を持ち上げたままの状態でのファスナーの開閉操作を容易に行うことができ、作業を効率化することができる。

(実施例)

穀粒収納袋1は、布、あるいは合成樹脂等の材質を用いた袋地から構成し、表地2の上方部分には袋側面横方向に開口する開口部3を形成する。

また、該開口部3にはファスナー4を取付け、開閉操作具5によって開閉自在に構成する。

そして前記開口部3の上方の表地2と裏地6を開口部3に沿い、袋全幅にわたって縫合して一體的に結合する。

更にこの縫合部分7の上方の袋地に長穴8を設け、把手9となる取手10を形成する。

尚、11は穀粒収納袋1の上端部両側に設けた縫目であり、12は穀粒収納袋1の下端部に設けた下側把手である。

また別実施例として、前記縫合部分7の上方の袋地にコ字状の把手9を取付ける構成としてもよい。

また前記開口部3の上方の表地2と裏地6は開口部3に沿い、接着、溶着等、前記の縫合以外の手段によって結合し、一体化してもよい。

そして前記開口部3の上方の表地2と裏地6は前記の縫合のように線状に結合するのみでなく、表地2、裏地6の全面にわたって結合してもよい。

更に表地2と裏地6の間に別の布、合成樹脂等を挟んで結合し、把手9の形成部、取付け部としての強度を向上させたものとしてもよい。

4. 図面の簡単な説明

図面は、この発明の実施例を示すものであり、

第一図は正面図、第二図は破断して示す側面図、

第三図は別実施例の正面図である。

符号の説明

1…穀粒収納袋 2…表地 3…開口部 4…ファスナー
5…開閉操作具 6…裏地 7…縫合部分
8…長穴 9…把手 10…取手 11…

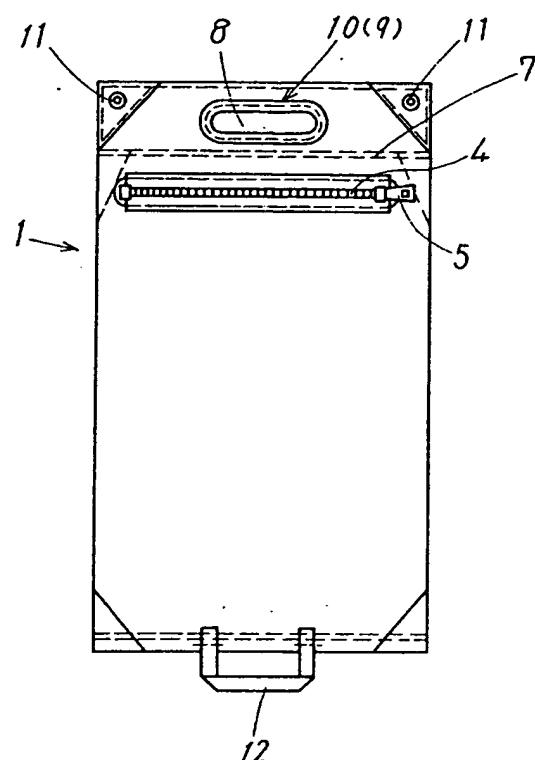
篇目 12…下側把手

特許出願人の名稱

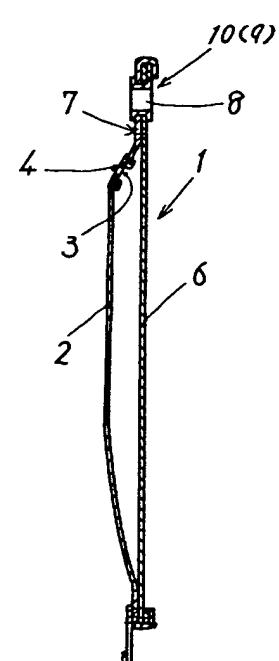
井関農機株式会社

代表者 水田栄久

第1図



第2図



第3図

